

A.B.C.(オートベースコード)を使う

機能説明

オートベースコード(A. B. C.)とは、下鍵盤またはペダル鍵盤で単音やコード(和音)を押さえるだけで、簡単に自動伴奏が付けられる機能です。

この機能を設定すると、押さえた音と同時に、押さえた音に対応したコード伴奏が鳴ります。

また、鍵盤から指や足を離しても、継続して伴奏を鳴らすことができる機能(メモリー)があります。この機能はA. B. C. と併用することができます。

A. B. C. の設定には、次の4つの種類があります。

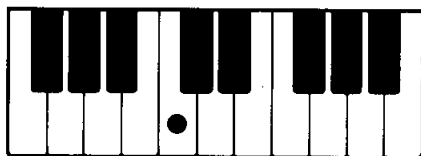
| | |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ●OFF | : 自動伴奏は付きません。 |
| ●Single(シングルフィンガー) | : 下鍵盤をひとつ押さえるだけで、メジャーコードが検出され、コードとベースの自動伴奏ができます。また、マイナーコード、セブンスコード、マイナーセブンスコードの自動伴奏もできます。 |
| ●Fingered(フィンガードコード) | : 下鍵盤で押さえたコードが検出され、コードとベースの自動伴奏が得られます。 |
| ●Custom(カスタムA.B.C.) | : 下鍵盤で押さえたコードとペダル鍵盤で押さえた音が検出され、コードとベースの自動伴奏が得られます。 |



リズム

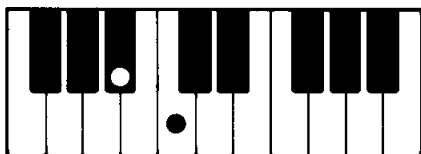
シングルフィンガー コードの押さえ方

- 下鍵盤を下のように押さえると、それぞれのコードが検出され、コードとベースの自動伴奏が始まります。



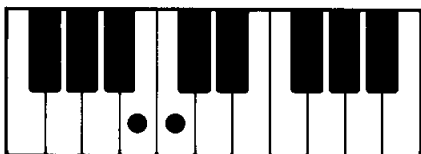
★メジャーコード

根音をひとつ押さえると、そのルートのメジャーコードになります。例は、Cメジャー(C)。



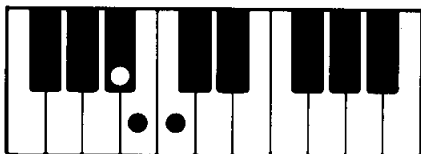
★マイナーコード

根音とそれより左側の黒鍵を同時に押さえると、そのルートのマイナーコードになります。例は、Cm。



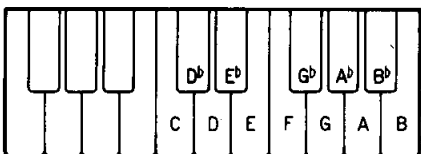
★セブンスコード

根音とそれより左側の白鍵を同時に押さえると、そのルートのセブンスコードになります。例は、C7。



★マイナーセブンスコード

根音とそれより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえると、そのルートのマイナーセブンスコードになります。例は、Cm7。



下鍵盤とコードの根音の位置関係。

注 意

- シングルフィンガーでは、下鍵盤のどの音域を押さえても、自動伴奏の音域は変わりません。
- シングルフィンガーでは、下鍵盤をレガート(なめらかに)に弾くと、伴奏のコードが正しく切り替わらないことがあります。次の鍵盤に押さえるときは、押さえた指を一度、鍵盤から離してから次へ移ってください。

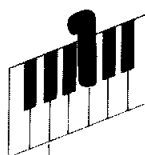
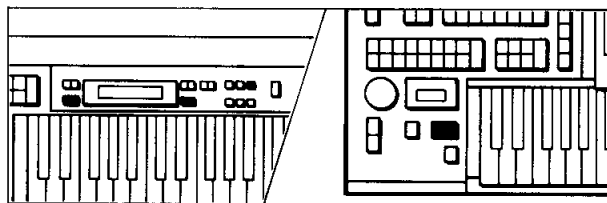
フィンガードコード、 カスタムA.B.C.で検出 されるコード

- フィンガードコードまたはカスタムA.B.C.を使っているときに検出されるコードは、次の15種類です。次の例の根音は、Cです。
C、Cm、C7、Cm7、CM7、Cmm7、C+5、C7+5、Cdim、C7sus4、Cm7-5、C-5、C7-5、C6、Cm6

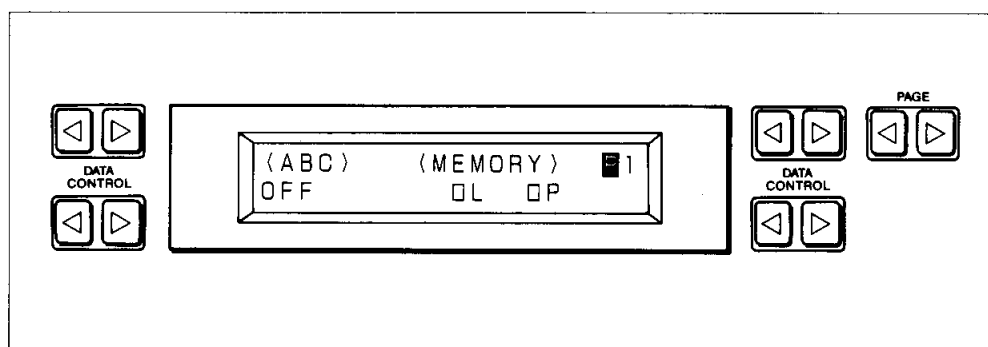
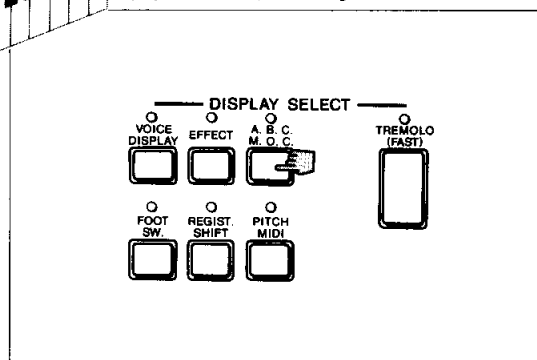
A. B. C. (オートベースコード)を使う

操作方法

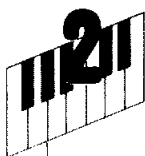
ここでは、A.B.C. の4つの設定から、「Single」(シングルフィンガー)を選ぶ操作を例にして説明します。また、下鍵盤(L:ロー)とペダル鍵盤(P:ペダル)を継続して鳴るように、メモリー機能をオンに設定する操作も説明します。



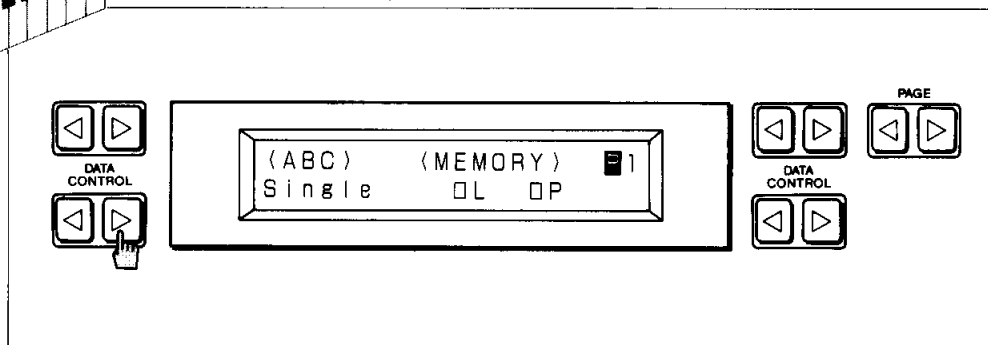
(A.B.C./M.O.C.)(オートベースコード/メロディーオンコード) ボタンを押します。



● A. B. C.、メモリーの設定メニューが表示されます。

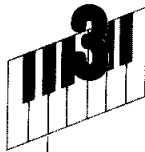


左下のデータコントロールボタン(▶)を押して、A.B.C. モードを「Single」にします。

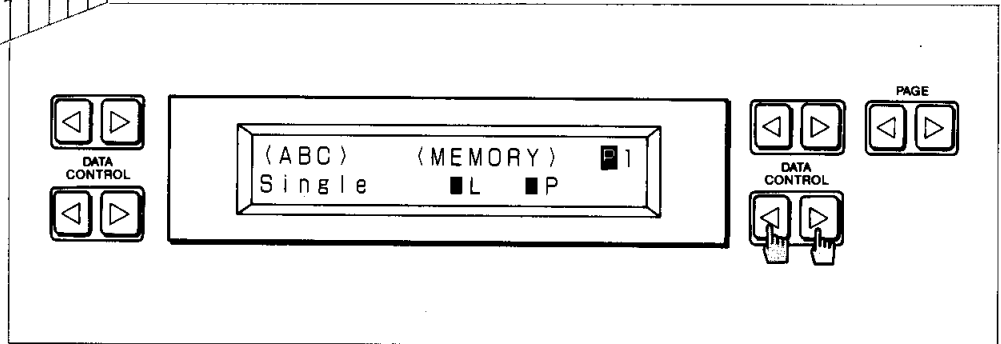




リズム



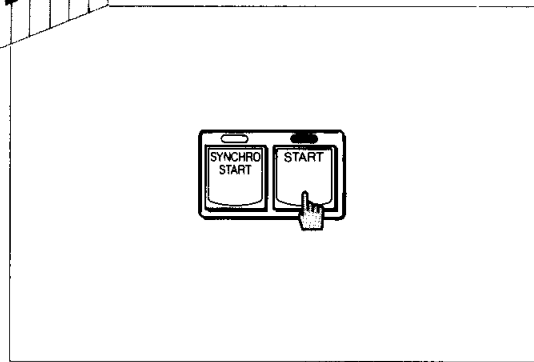
右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、メモリーの「L」(ロワー)と「P」(ペダル)を「■」にします。



これで、A. B. C. モードとメモリーの設定が終了しました。



〔START〕(スタート) ボタンまたは〔SYNCHRO START〕(シンクロスタート) ボタンを押して、下鍵盤を押し、A. B. C. の伴奏をスタートさせます。



- ロワーキーボードボイスとペダルボイスの発音状態(ボイスコンディション)の設定はP24をご覧ください。

こんなこともできる

- A. B. C. は、リズムコンディションと連動しています。詳しくは、P43をご覧ください。
- メモリーは、リズムをスタートしている状態なら、A. B. C. をオフに設定していても機能します。
- A. B. C. は、アカンパニメント(伴奏)機能と同時に使うことができます。詳しくは、P46をご覧ください。

M.O.C.(メロディーオンコード)を使う

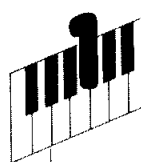
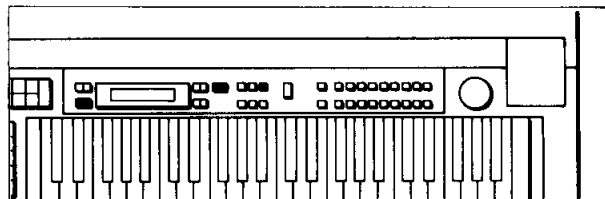
機能説明

メロディーオンコード(M.O.C.)とは、下鍵盤でコードを押さえたときに、上鍵盤で弾くメロディーに自動的にハーモニーを加える機能です。
メロディーオンコードの種類には、次の3つのタイプがあります。

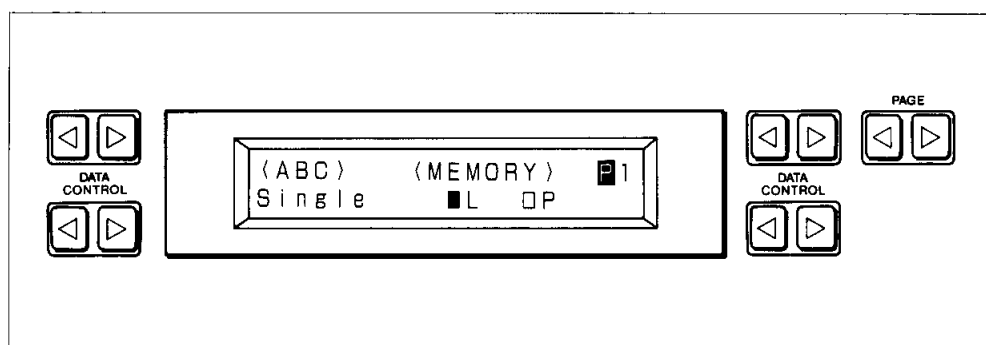
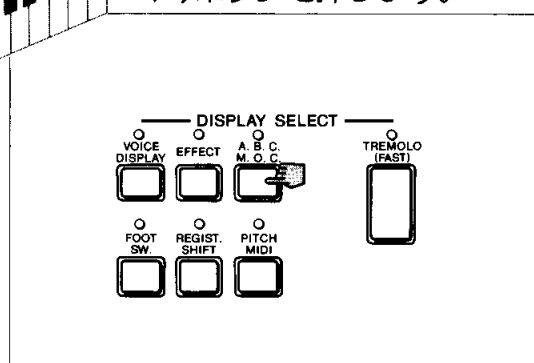
タイプ1：最大2音までのハーモニーが、メロディーに近い音域で発音します。
タイプ2：最大3音までのハーモニーが、メロディーに近い音域で発音します。
タイプ3：最大4音までのハーモニーが、メロディーからやや離れた音域で発音します。

操作方法

メロディーオンコードの設定は、オフ、タイプ1～3の中から、「TYPE 2」(タイプ2)を選ぶ操作を例にして説明します。



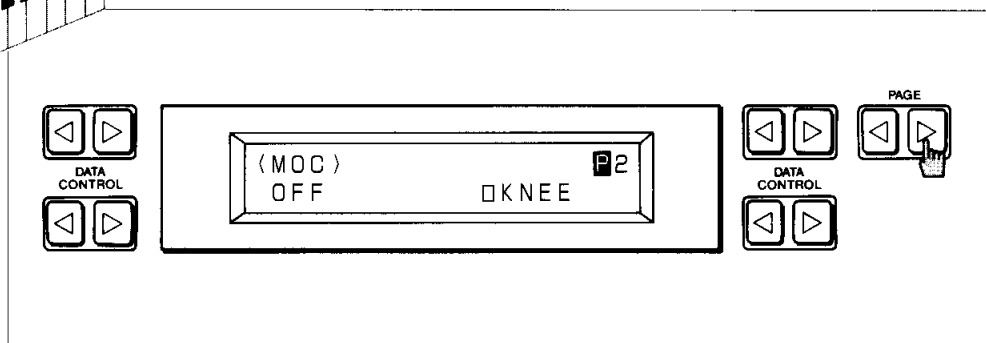
〔A. B. C./M. O. C.〕(オートベースコード／メロディーオンコード)ボタンを押します。



●「A. B. C.」と「MEMORY」の設定メニューが表示されます。



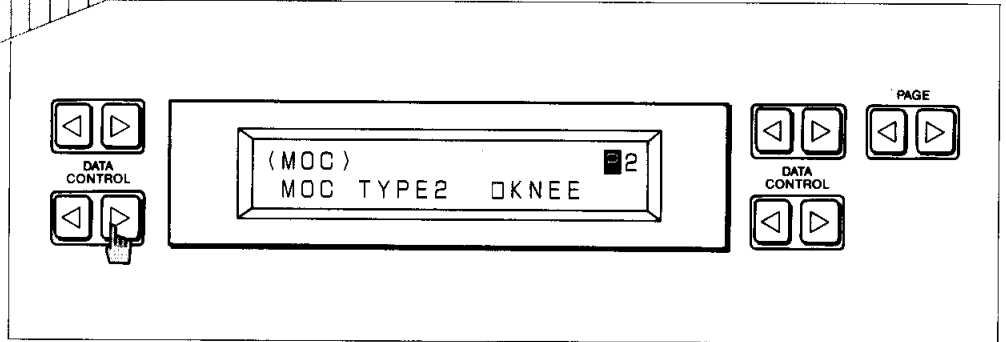
ページボタン〔P〕を押して、2ページ目「P2」を表示させます。



●M.O.Cの設定メニューが表示されます。



左下のデータコントロールボタン(▷)を押して、M.O.C. モードを「M.O.C. TYPE 2」にします。



- 右下のデータコントロールボタン(◁)(▷)を押して「KNEE」(ニーレバー)の設定を「■」(オン)にしておくと、ニーレバーのオン/オフ操作によりハーモニー効果をオン/オフできます。

これで、M.O.C. モードの設定ができました。

こんなこともできる

- メロディーオンコードは、A. B. C. のメモリー設定で、「LOWER(ロワー)」をオンにして、リズムをスタートさせていると、下鍵盤から指を離しても、メロディーにハーモニーが付きます。

効果の種類について

機能説明

演奏する曲の曲調や好みに合わせて、効果をかけることができます。

効果一覧表

効果の一覧表です。

| 対象範囲 | 効果名 | 効果の説明 | 説明ページ | 「対象範囲」の項の補足 |
|-------|---------|-----------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体 | リバーブ | 音に残響が付いて、ホールなどで演奏しているような感じになります。 | P57 | リズムを含む全ての音に一括してかけることが可能です。 |
| 音色群ごと | サステイン | 離鍵後の音に余韻が付きます。 | P58 | アッパースピーカーボードボイス、ロウースピーカーボードボイス、ペダルボイスごとにかけることが可能です。 |
| 音色群ごと | トレモロ | 音が高速で回転しているような感じになります。 | P31、P79 | アッパースピーカーボードボイス、リードボイス、ロウースピーカーボードボイスごとに、4種類の中からそれぞれ効果を選んでかけることが可能です。 ペダルボイスは、トレモロ、シンフォニックのどちらかをを選んでかけることが可能です。 (ディレイ、フランジャーをかけることはできません。) |
| | シンフォニック | 複数の楽器で演奏しているような厚みと広がりのある感じになります。 | P31、P84 | |
| | ディレイ | 音がこだましているような感じになります。 | P31、P80 | |
| | フランジャー | 音がうねって、複雑な感じになります。 | P31、P82 | |
| 音色群ごと | ビブラート | 音がふるえます。 | P32 | アッパースピーカーボードボイス、リードボイス、ロウースピーカーボードボイスごとにかけることが可能です。 |
| 音色群ごと | グライド | 左フットスイッチをオンにしたときに音程が半音下がり、オフに戻すと徐々に元の音程に戻る効果。 | P137 | アッパースピーカーボードボイス、リードボイス、ロウースピーカーボードボイスごとにかけることが可能です。 |

- リバーブ～グライドを同時にかけることも可能です。ただし、1つの音色群に対してトレモロ、シンフォニック、ディレイ、フランジャーの中の2つを同時にかけることはできません。

リバーブ(残響)効果



効果

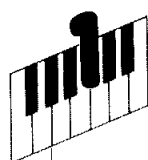
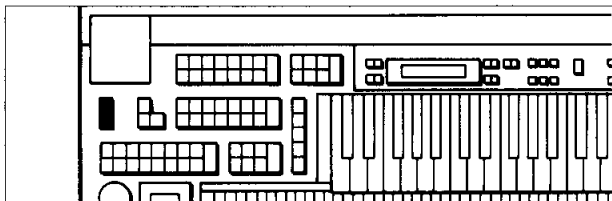
機能説明

全ての音に対してかかるリバーブ効果の深さ(強さ)を調節できます。

- リバーブ効果は、リズムやアカンパニメント、オートペースコードの音なども含めて、全ての音にかかります。
- 設定した深さを他の設定と一っしょに記憶させておきたい場合は、電源を切る前にメモリーボタン〔1〕～〔8〕のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

操作方法

リバーブ効果を最も深くかける操作を例にして説明します。



リバーブボタンを押します。



- 最上段のランプが点灯します。
- これでリバーブ効果は、最も深くかかるようになりました。
- リバーブ効果をかけたくない場合は、1番下のボタンを押します。

これで、リバーブ効果を最も深くかけることができました。

サステイン(余韻)効果

機能説明

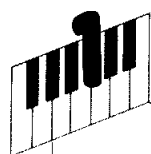
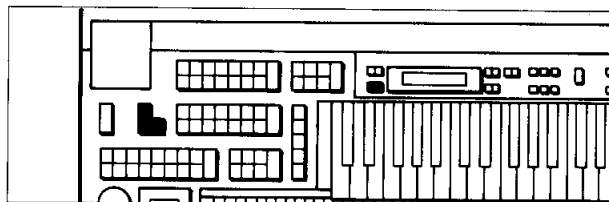
アッパーキーボードボイスで選んだ音、ロワーキーボードボイスで選んだ音、ペダルボイスで選んだ音に対してサステイン(余韻)効果をかけることができます。

- サステインの設定状態は、その音色群のどの音色にも共通した設定になります。
- サステインの設定状態を他の設定といっしょに記憶させておきたい場合は、電源を切る前にメモリーボタン〔1〕～〔8〕のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

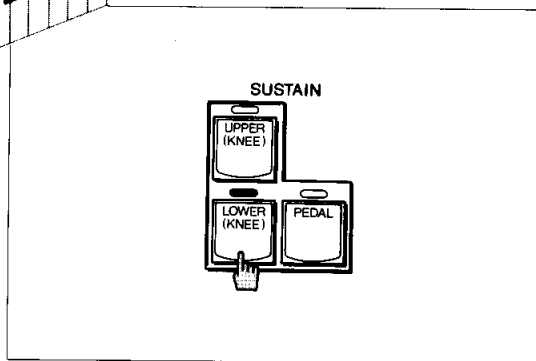
操作方法

ロワーキーボードボイスで選んだ音に対して、余韻の長さ「12」のサステイン効果をかける操作を例にして説明します。

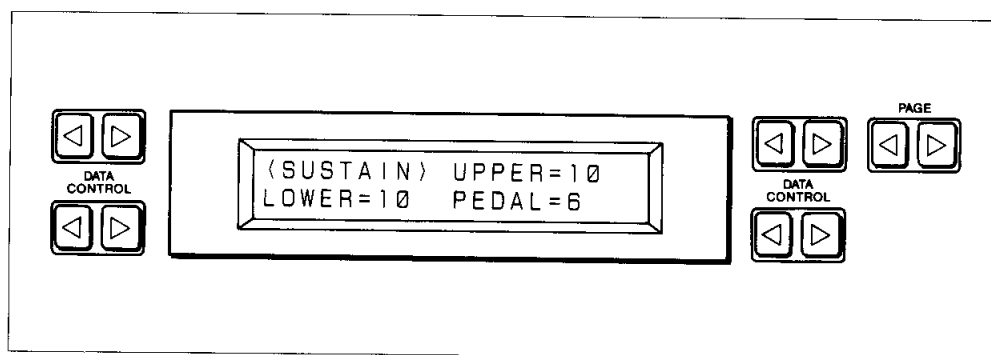
他の音色にかける場合も、操作は同様です。



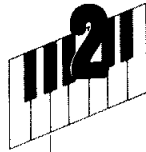
サステインの〔LOWER〕(ロワー)ボタンを押します。



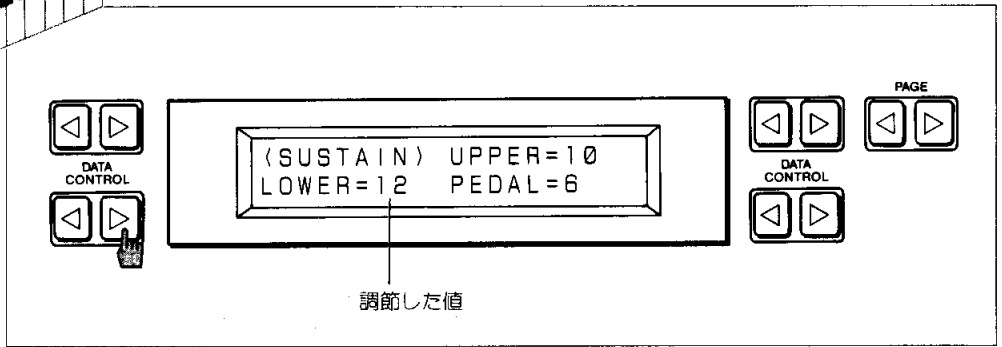
- 〔LOWER〕(ロワー) ボタンのランプが点灯します。



- サステイン効果の余韻の長さが表示されます。



左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、ロワーキーボードボイスの余韻の長さを「12」にします。



- 0～12の範囲で調節できます。
- 値を大きくするほど、余韻の長さが長くなります。

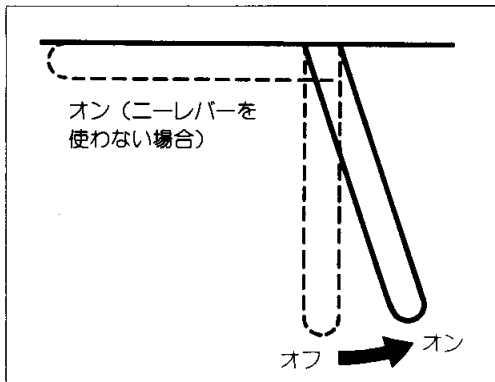
これで、余韻の長さ「12」でサステイン効果がかかるようになりました。

🎵 操作のポイント

- それぞれの余韻の長さをあらかじめ設定しておき、サステイン効果をかけるときだけ、該当するサステインボタンを押します。

こんなこともできる

- ニーレバーを使うと、演奏中にかけたいときに、サステイン効果をかけることができます。



- ① ニーレバーをオフ(真下)の位置にします。
- ② サステインをかける間、右ひざで右(オン)方向に倒します。

- サステインボタンがオンになっていなければ、ニーレバーをオンにしてもサステイン効果はかかりません。
- ニーレバーでオン/オフの操作をしない場合は、必ずただんだ状態にしておいてください。

- 余韻の長さを極端に短くすると、ハープなど減衰系の音色のときに、元の音よりも余韻が短くなることがあります。この特性を利用して使うのもアイデアです。
- 残しておきたい設定は、電源を切る前にレジストレーションメモリーボタンに記憶させておくとう便利です。

レジストレーションをメモリーボタンに記憶させる

機能説明

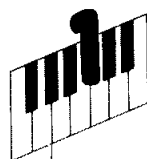
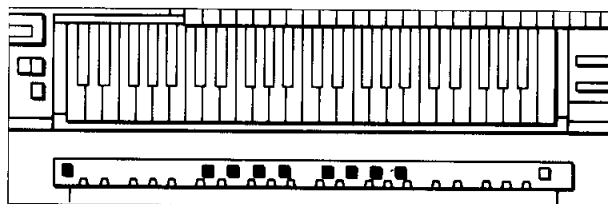
パネル上で設定した現在の状態を、メモリーボタン(1)～(8)に記憶させることができます。

音色名、音色に関する設定、リズム名、リズムに関する設定、効果に関する設定を1つにまとめて記憶させることができます。

- メモリーボタン(1)～(8)それぞれに記憶させることができます。
- 曲ごとに、または曲の1つの場面ごとに記憶させると便利です。
- 簡単な操作で、記憶させた状態(レジストレーション)を呼び出すことができます。

操作方法

メモリーボタン(2)に記憶させる操作を例にして説明します。
他のボタンに記憶させる場合も、操作は同様です。



(M./TO DISK)(メモリー/トゥーディスク) ボタンを押しながら、メモリーボタン(2)を押します。



- メモリーボタン(2)が瞬点滅して、現在のパネル状態が記憶されたことを示します。

これで、現在設定されている音色やリズムなどの状態がメモリーボタン(2)に記憶されました。

こんなこともできる

- メモリーボタン(1)～(8)に記憶させた状態(レジストレーション)を、さらに録音用フロッピーディスクに記録することができます。この機能を使えば、フロッピーディスクに、(1)～(8)の組み合わせを何通りも記録させることができます。(→P151参照)

注意

- メモリーボタン(1)～(8)を押す前に(M./TO DISK)(メモリー/トゥーディスク) ボタンを離してしまうと、記憶されません。
- 記憶させると、それまでのボタンに記憶されていた状態は消えます。
- 現在設定されている音色やリズムなどの状態を残しておきたい場合は、電源を切る前に忘れずに記憶させてください。

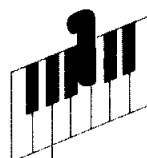
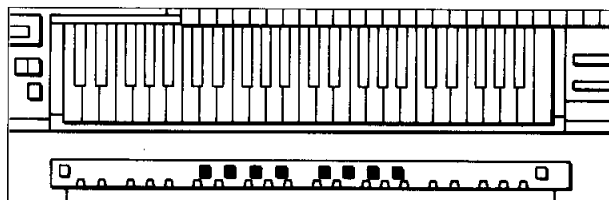
■記憶させたレジストレーションを呼び出す

機能説明

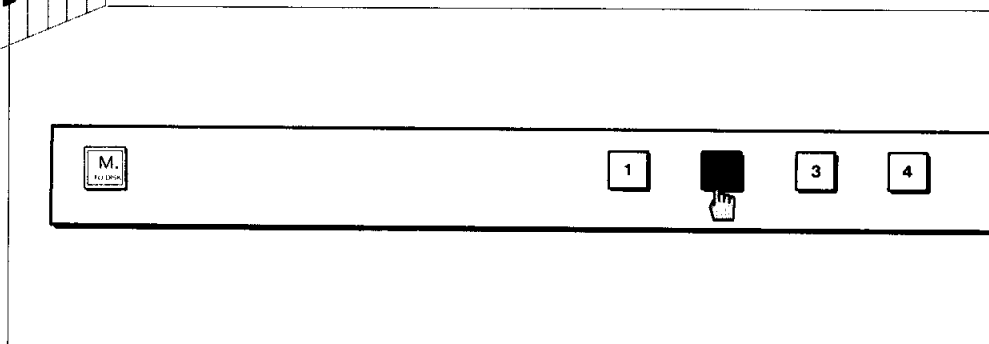
メモリーボタン(1)～(8)に記憶させた状態(レジストレーション)を呼び出して、使用できます。
音色名、音色に関する設定、リズム名、リズムに関する設定、効果に関する設定が再現されます。

操作方法

メモリーボタン(2)に記憶させたレジストレーションを呼び出す操作を例にして説明します。
他のボタンのレジストレーションを呼び出す場合も、操作は同様です。



メモリーボタン(2)を押します。



●メモリーボタン(2)が点灯します。

これで、記憶されていた状態が呼び出され、メモリーボタン(2)の状態で演奏できるようになりました。

こんなこともできる

- レジストシフトの機能を使えば、右フットスイッチの操作でレジストレーションを呼び出すことができます。(→P128参照)
- 録音用フロッピーディスクに記録したレジストレーションを呼び出して、使用することができます。(→P155参照)
- メモリーボタン(1)～(8)に記憶させないで電源を切ってしまった後、電源を切る前の状態に戻したいときは、まず電源を入れ、[M./TO DISK] (メモリー/トゥーディスク) ボタンを押しながら、[D.] (ディセーブル) ボタンを押します。

注意

●電源を入れた時点では、必ず基本レジストレーション1になります。

■ディセーブルについて

機能説明

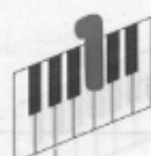
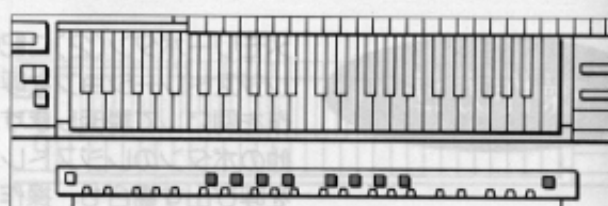
メモリーボタン(1)~(8)に記憶させた状態(レジストレーション)のうち、音色名と効果に関する設定だけを呼び出すことができます。

リズム名、テンポなどのリズムに関する設定は変えないで演奏できます。

●簡単な操作で、記憶させた状態(レジストレーション)を呼び出すことができます。

操作方法

メモリーボタン(3)に記憶されている音色名と効果に関する設定を呼び出す操作を例にして説明します。

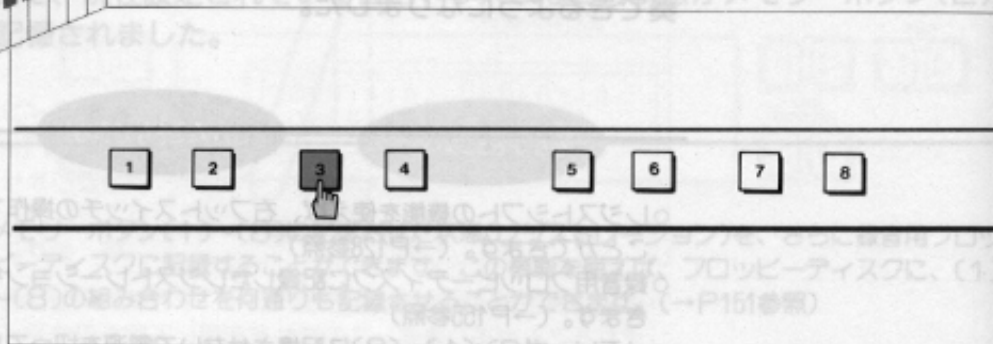


(D.)(ディセーブル)ボタンを押します。

- (D.)(ディセーブル)ボタンが点灯して、リズムに関する設定は、メモリーボタンを押しても変わりません。



メモリーボタン(3)を押します。



- メモリーボタン(3)が点灯します。

これで、メモリーボタン(3)の音色名と効果に関する設定だけが呼び出されました。

♪ 操作のポイント

- この機能は、(D.)(ディセーブル)ボタンのランプを消灯させるまで、全てのレジストレーションに対して働きます。

注意

- 電源を入れた時点では、基本レジストレーション1に戻ります。(この機能も解除されます。)

機能説明

付属のレジストレーションメニューディスクから、基本レジストレーションとは設定が異なるレジストレーションを呼び出して、使用できます。

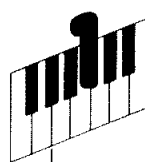
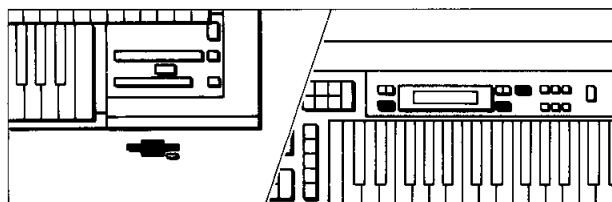
1枚のディスクに16種類×5ページ=80種類のレジストレーションが記憶されています。

●レジストレーション一覧表がP66にあります。

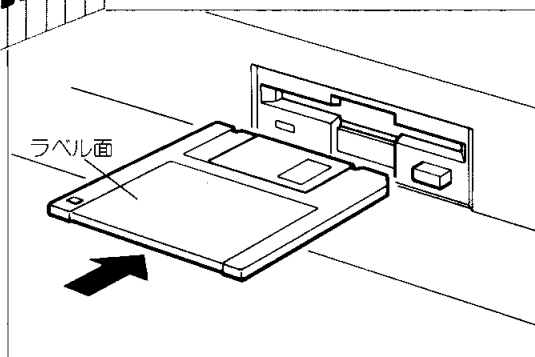
操作方法

ディスクの中から、「P3」の「4: SYNTH4」レジストレーションを呼び出す操作を例にして説明します。

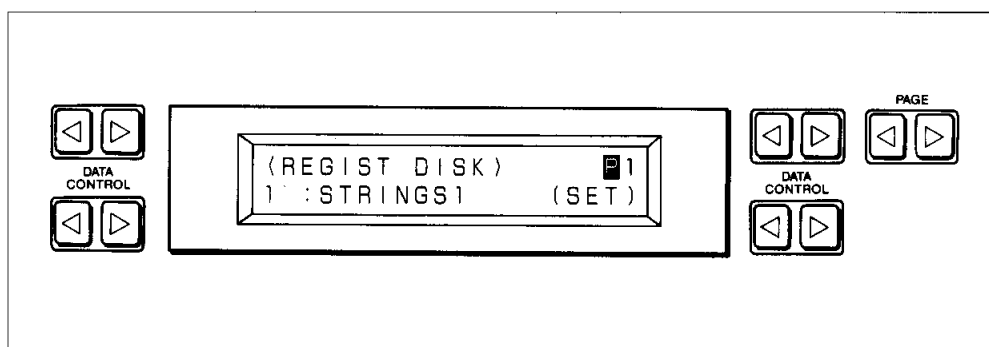
他のレジストレーションを呼び出す場合も、操作は同様です。



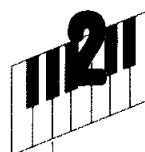
レジストレーションメニューディスクを、ラベル面を上にしてフロッピーディスク挿入口へ挿入します。



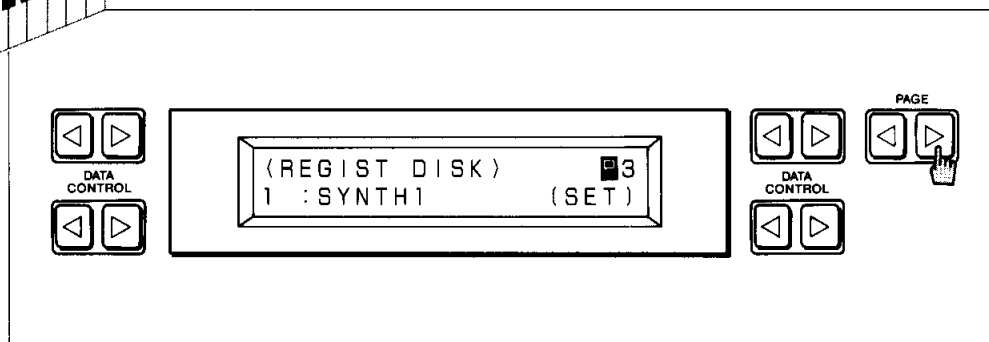
●“カチッ”と音がするまで、ディスクを押し込んでください。



●ディスクを挿入すると、ディスプレイに、「P1」(1ページ)の「1」番のレジストレーション名が表示されます。



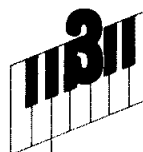
ページボタン〔<〕〔>〕を押して、「P3」にします。



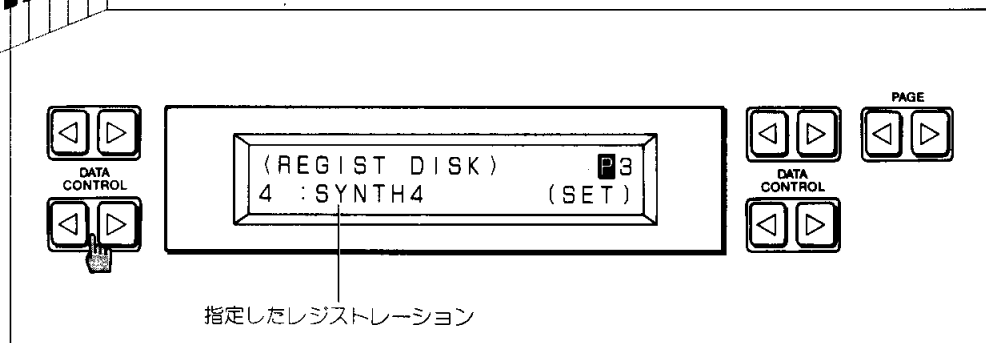
●ページを変えると、変えたページの「1」番のレジストレーション名が表示されます。

●「P1」～「P5」のページがあります。

レジストレーションメニューを使う



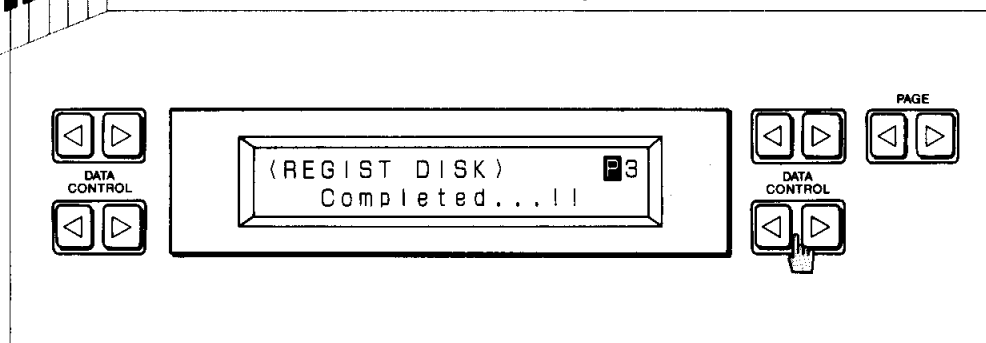
左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「4:SYNTH4」にします。



●ページごとに、「1」～「16」番のレジストレーションがあります。



右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、表示させたレジストレーションを呼び出します。



●ディスプレイには、一瞬だけ「Completed...!!」が表示されます。

これで、「P3」の「4:SYNTH4」のレジストレーションを呼び出すことができました。

こんなこともできる

○レジストレーションメニューディスクから呼び出したレジストレーションを、EL-50のメモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させることができます。詳しくは、P60をご覧ください。

注意

- リズムパターンを作成する状態や、リズムの再生順序を記憶させる状態になっているときは、レジストレーションメニューディスクを挿入しても、レジストレーションの表示にはなりません。
- ディスク挿入口の左下にあるランプが点灯または点滅しているときは、ディスクを抜かないでください。

機能説明

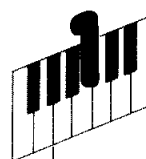
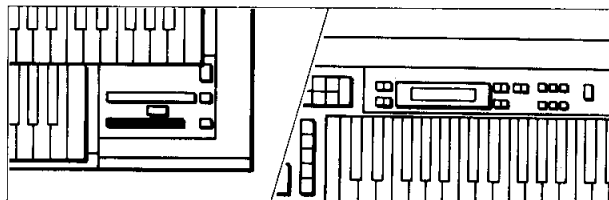
レジストレーションを呼び出す方法以外の操作をしたために他の表示になっても、もう一度レジストレーションメニューディスクの表示に戻すことができます。

レジストレーションメニューの表示に戻す操作には、次の2つの方法があります。

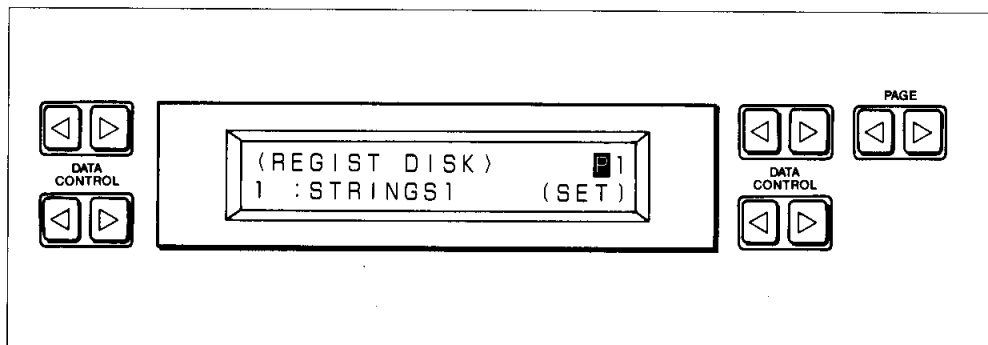
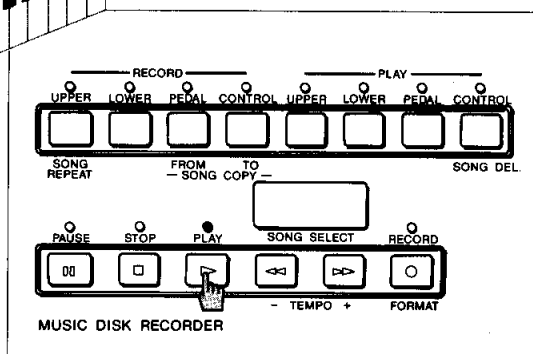
1. フロッピーディスク挿入口右横の取出しボタンを押して、レジストレーションメニューディスクをいったん取り出し、再び挿入する方法。
2. レジストレーションメニューディスクを挿入したままで、ミュージックディスクレコーダーの〔PLAY〕(プレイ)ボタンを使う方法。

操作方法

ここでは、2の方法を説明します。



レジストレーションメニューディスクを挿入したままで、ミュージックディスクレコーダーの〔PLAY〕(プレイ)ボタンを押します。



- ディスプレイに、「P1」の「1」番のレジストレーション名が表示されます。
- 呼び出し方法は、通常の方法と同じです。(→P63参照)

これで、レジストレーションメニューの表示に戻すことができました。

注意

- レジストレーションの呼び出しまで行くと、それまで設定中だった内容は消えてしまいます。設定中の内容を記憶させておく場合は、呼び出す前にEL-50のメモリーボタン〔1〕～〔8〕のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

レジストレーションの組み合わせと解説

ディスクのレジストレーション一覧表

- EL-50のレジストレーションメニューには、80種類のレジストレーションが入っています。
- (1)STRINGS(ストリングス)、BRASS(ブラス)、LEAD(リード)、DECAY(ディケイ)、SYNTH(シンセ)、Wedding(ウエディング)、X'mas(クリスマス)は各鍵盤に音色が設定され、サウンドイメージのレジストレーションになっています。
- (2)リズム名のタイトルのレジストレーションメニューは、リズム/アカンパニメントでのレジストレーション設定になっています。
- (3)適応曲例は各メニューに対応した曲の例です。

P1(ページ1)

| 番号 | タイトル | サウンドイメージ | アップキーボードボイス | リードボイス | ローキーボードボイス | ペダルボイス | リズム(テンポ) | 適応曲例 |
|----|----------|-----------------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------------------------|
| 1 | STRINGS1 | ウィーン風シンフォニー | ストリングス1 | バイオリン | ホルン1(8') | コントラバス | —— | 美しく青きドナウ |
| 2 | STRINGS2 | ポップ・ストリングス | ストリングス2 | ホイッスル(4') | ストリングス2 | ピチカートベース | —— | 星に願いを |
| 3 | STRINGS3 | チェンバー・ストリングス | ストリングス1 | バイオリン | ストリングス1 | ピチカートベース | —— | G線上のアリア |
| 4 | STRINGS4 | ソロ・バイオリン | —— | バイオリン | ストリングス2 | コントラバス | —— | シュベールのセレナーデ |
| 5 | STRINGS5 | ポップクラシック | ストリングス2 | ハープシコード | ストリングス2 | エレクトリックベース1 | 8ビート1(115) | ラバースコンチェルト |
| 6 | STRINGS6 | ピチカートストリングス | ピチカートストリングス | —— | ピチカートストリングス | ピチカートストリングス | —— | ピチカートポルカ |
| 7 | STRINGS7 | ミュージカル | ストリングス1(8') | トランペット1(8') | ブラス | ピチカートベース | ポルカ(130) | 教会へ行こう |
| 8 | STRINGS8 | ストリングスユニゾン | ストリングス1 | ストリングス1(16') | ストリングス2 | コントラバス | —— | すべての山に登れ |
| 9 | BRASS1 | マーチングバンド | ブラス | トロンボーン | ブラス | チューバ | マーチ(120) | ハイホー |
| 10 | BRASS2 | ソロ・トランペット | —— | トランペット1 | ホルン1 | チューバ(8') | —— | ロトのテーマ |
| 11 | BRASS3 | ビッグバンド1 | ブラス | サキソフォン | トロンボーン | ピチカートベース | スイング1(168) | アメリカンパトロール |
| 12 | BRASS4 | ビッグバンド2 トロンボーンソロ | —— | トロンボーン | サキソフォン | ピチカートベース | スイング2(125) | Don't Get Around Much Anymore |
| 13 | BRASS5 | ビッグバンド3 サックスアンサンブル | サキソフォン | サキソフォン(8') | ピアノ | ピチカートベース | スイング1(136) | 茶色の小びん |
| 14 | BRASS6 | ジャズトランペット | —— | トランペット2 | ギター2 | ピチカートベース | ボサノバ(160) | 晴れた日に永遠が見える |
| 15 | BRASS7 | ディキシランドジャズ | —— | クラリネット | ピアノ | ピチカートベース | ディキシランド(96) | 5匹の子豚とチャールストン |
| 16 | BRASS8 | サックスフュージョン | —— | サキソフォン | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース1 | 16ビート3(80) | Feel Like Making Love. |

P2(ページ2)

| 番号 | タイトル | サウンドイメージ | アップキーボードボイス | リードボイス | ローキーボードボイス | ペダルボイス | リズム(テンポ) | 適応曲例 |
|----|--------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------------|
| 1 | LEAD1 | 木管アンサンブル | オーボエ | フルート | クラリネット | バスーン(8') | —— | 大きな古時計 |
| 2 | LEAD2 | クラシックフルート | —— | フルート | ハープ | コントラバス | —— | メスエト(「アルの女」より) |
| 3 | LEAD3 | クラシックオーボエ | —— | オーボエ | ストリングス2 | コントラバス | —— | 海の見える街 (「魔女の宅急便」より) |
| 4 | LEAD4 | ポルカ | —— | クラリネット | アコーディオン | ピチカートベース | ポルカ(115) | ピア樽ポルカ |
| 5 | LEAD5 | メロウホイッスル | —— | ホイッスル | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース1 | 8ビート1(78) | Somewhere Out There (「アメリカ物語」より) |
| 6 | LEAD6 | ハーモニカ (スロー・バラード) | —— | ハーモニカ | ストリングス2 | コントラバス | —— | 峠の我が家 |
| 7 | LEAD7 | コンチネンタルタンゴ | アコーディオン | ハーモニカ | ストリングス2 | ピチカートベース | タンゴ2(120) | 奥様お手をどうぞ |
| 8 | LEAD8 | ジャズオルガン | ジャズオルガン | ジャズオルガン(4') | ジャズオルガン(8') | オルガンベース1 | ボサノバ(150) | サマーサンバ |
| 9 | DECAY1 | アコースティックピアノ | ピアノ | —— | ピアノ | ピチカートベース | —— | トルコ行進曲 |
| 10 | DECAY2 | エレクトリックピアノ | エレクトリックピアノ | —— | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース1 | 16ビート3(78) | サマーキャンドル |
| 11 | DECAY3 | ホンキートンクピアノ | ピアノ | —— | ピアノ | ピアノ | ディキシランド(90) | エンターティナー |
| 12 | DECAY4 | ジャズギター | ギター2 | —— | ストリングス2 | エレクトリックベース1 | ボサノバ1(140) | マスカレード |
| 13 | DECAY5 | ラテンマリンバ | マリンバ | —— | ピアノ | エレクトリックベース1 | サンバ1(125) | ティコティコ |
| 14 | DECAY6 | ロマンティックオルゴール | グロッケン(8') | ホイッスル | ストリングス2 | エレクトリックベース1 | スローロック1(72) | メモリー |
| 15 | DECAY7 | オールディーズ | エレクトリックギター | —— | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース1 | 8ビート3(130) | スタンド・バイ・ミー |
| 16 | DECAY8 | 日本の郷愁 | ハープシコード | ハープシコード | ストリングス2 | コントラバス | —— | 日本昔ばなし |

P3(ページ3)

| | タイトル | サウンドイメージ | アッパーキーボードボイス | リードボイス | ローキーボードボイス | ペダルボイス | リズム(テンポ) | 適応曲例 |
|---|--------|--------------|--------------|------------|-------------|-------------|----------------|------------------|
| 1 | SYNTH1 | ウインドシンセ | ——— | コズミック3 | エレクトリックギター | エレクトリックベース2 | 8ビート3(150) | トゥルース |
| 2 | SYNTH2 | シンセブラス1 | シンセブラス | クラリネット(4') | エレクトリックギター | エレクトリックベース1 | 8ビート1(130) | 愛が止まらない |
| 3 | SYNTH3 | コズミックサウンド1 | コズミック4 | ホイッスル | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース1 | 8ビート2(120) | 花はどこへ行った |
| 4 | SYNTH4 | シンセブラス2 | トウッティ2 | ブラス | エレクトリックギター | エレクトリックベース2 | 16ビート3(117) | 魔法使いサリー |
| 5 | SYNTH5 | フュージョン | ——— | エレクトリックギター | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース2 | 16ビートファンク(120) | シーライン |
| 6 | SYNTH6 | ファンタジー | コズミック1(8') | ホイッスル | シンセチャイム(8') | コントラバス | ——— | タスマニア物語 |
| 7 | SYNTH7 | コズミックサウンド1 | コズミック2 | マリンバ(4') | エレクトリックピアノ | エレクトリックベース1 | ダンスポップ(125) | バナナのおやこ |
| 8 | SYNTH8 | シンセブラスオーケストラ | コズミック3 | ホイッスル | コズミック3 | エレクトリックベース1 | バウンス1(125) | さんぽ(「となりのトトロ」より) |

| | タイトル | リズムテンポ | アカンパニメント | アッパーキーボードボイス | リードボイス | ペダルボイス | 適応曲例 |
|----|------------|--------|----------|--------------|--------------|---------------|-----------|
| 9 | March | 120 | 4 | ブラス | トランペット1 | チューバ | 旧友 |
| 10 | Polka | 110 | 4 | バスーン | フルート(4') | ピチカートベース(16') | ホルディリディ |
| 11 | Country | 112 | 1 | ——— | ハーモニカ | ピチカートベース(16') | 駅馬車 |
| 12 | Broadway | 135 | 4 | グロッケン | トランペット | ピチカートベース | 踊り明かそう |
| 13 | Waltz1 | 105 | 4 | ストリングス2 | ストリングス2(16') | ピチカートベース(16') | エデンの東 |
| 14 | Waltz2 | 180 | 2 | ストリングス1 | バイオリン | ピチカートベース | こうもり序曲 |
| 15 | Jazz Waltz | 140 | 4 | ギター2 | ホイッスル | ピチカートベース(16') | モッキンバードヒル |
| 16 | Bolero | 136 | 1 | ——— | トランペット1 | ピチカートベース(16') | グラナダ |

P4(ページ4)

| | タイトル | リズムテンポ | アカンパニメント | アッパーキーボードボイス | リードボイス | ペダルボイス | 適応曲例 |
|----|-------------|--------|----------|--------------|--------------|------------------|-----------------|
| 1 | Swing1 | 160 | 3 | ブラス | トランペット1 | ピチカートベース | A列車で行こう |
| 2 | Swing2 | 138 | 4 | ——— | クラリネット | ピチカートベース | オール・オブ・ミー |
| 3 | Jazz Ballad | 60 | 3 | ——— | トロンボーン | ピチカートベース | テンダリー |
| 4 | Dixieland | 108 | 4 | ——— | トランペット2 | チューバ | 聖者の行進 |
| 5 | Bounce1 | 123 | 2 | ギター1 | ——— | エレクトリックベース1(16') | 二人でお酒を |
| 6 | Bounce2 | 140 | 2 | ——— | クラリネット | ピチカートベース(16') | 月光価千金 |
| 7 | Reggae1 | 132 | 4 | マリンバ | ——— | エレクトリックベース1(16') | バナナボート |
| 8 | Reggae2 | 120 | 4 | コズミック4 | シンセベース | エレクトリックベース1(16') | さよなら人類 |
| 9 | Slow Rock1 | 80 | 1 | エレクトリックギター | ——— | エレクトリックベース1(16') | 雪国 |
| 10 | Slow Rock2 | 74 | 1 | ——— | トランペット1 | エレクトリックベース1(16') | この世の果てまで |
| 11 | Slow Rock3 | 92 | 4 | ——— | サキソフォン | エレクトリックベース1(16') | ジョージ・オン・マイ・マインド |
| 12 | Tango1 | 120 | 1 | アコーディオン | ハーモニカ | ピチカートベース(16') | ラ・クンパルシータ |
| 13 | Tango2 | 120 | 1 | ストリングス2 | バイオリン | ピチカートベース(16') | 真珠採りのタンゴ |
| 14 | Tango3 | 110 | 1 | アコーディオン | アコーディオン(16') | エレクトリックベース1(16') | ランパダ |
| 15 | Chacha | 126 | 4 | ピアノ(16') | ピアノ(4') | エレクトリックベース1(16') | ラストダンスは私に |
| 16 | Rhumba | 115 | 1 | ——— | トランペット2 | エレクトリックベース1(16') | タブー |

レジストレーションメニューの組み合わせと解説

P5(ページ5)

| 番号 | タイトル | リズムテンポ | アカンパニメント | アッパーキーボードボイス | リードボイス | ペダルボイス | 適応曲例 |
|----|-------------|--------|----------|----------------|-------------|------------------|-------------|
| 1 | Beguine | 118 | 4 | ストリングス2 | ホイッスル | エレクトリックベース1(16') | ビギン・ザ・ビギン |
| 2 | Mambo | 100 | 4 | ブラス | サキソフォン | エレクトリックベース1(16') | マンボ ジャンボ |
| 3 | Samba1 | 120 | 1 | サキソフォン | トランペット1 | エレクトリックベース1(16') | ブラジル |
| 4 | Samba2 | 112 | 1 | ギター2 | フルート | エレクトリックベース1(16') | コパカバーナ |
| 5 | Bossanova1 | 103 | 1 | ———— | フルート | エレクトリックベース(16') | いそしぎ |
| 6 | Bossanova2 | 124 | 2 | ———— | サキソフォン | エレクトリックベース1(16') | 黒いオルフェ |
| 7 | 8Beat1 | 100 | 3 | コズミック2 | グロッケン | エレクトリックベース(16') | 駅 |
| 8 | 8Beat2 | 117 | 2 | エレクトリックピアノ | ———— | エレクトリックベース1(16') | 守ってあげたい |
| 9 | 8Beat3 | 152 | 3 | エレクトリックギター | エレクトリックギター | エレクトリックベース1(16') | ジョニー・ビー・グッド |
| 10 | Dance Pop | 130 | 4 | グロッケン | コズミック4 | エレクトリックベース1(16') | 夢の中へ |
| 11 | 16Beat1 | 85 | 4 | ———— | フルート | エレクトリックベース1(16') | 二人だけ |
| 12 | 16Beat2 | 124 | 4 | シンセブラス | シンセブラス(16') | エレクトリックベース2 | TAKE OFF |
| 13 | 16Beat3 | 112 | 4 | ブラス | トランペット1 | エレクトリックベース2 | レディ・オーシャン |
| 14 | 16Beat Funk | 118 | 4 | エレクトリックギター(8') | コズミック3 | エレクトリックベース2 | 流星のサドル |

| 番号 | タイトル | サウンドイメージ | アッパーキーボードボイス | リードボイス | ローキーボードボイス | ペダルボイス | リズム(テンポ) | 適応曲例 |
|----|---------|----------|--------------|----------|------------|----------|----------|-----------|
| 15 | Wedding | ウエディング | オルガン | オルガン(4') | オルガン(8') | オルガンベース2 | ———— | ウエディングマーチ |
| 16 | X'mas | クリスマスソング | コズミック4 | グロッケン | ストリングス2 | コントラバス | ———— | もろびとこざりて |

活用編

| | |
|-------------------------------|-----|
| トウーロー | |
| 音色を下鍵盤に移す | 70 |
| ドットボタン | |
| 設定した音色をドットボタンに登録する | 71 |
| 設定したリズムをドットボタンに登録する | 74 |
| 効果(II) | |
| トレモロ(ファースト) | 79 |
| エフェクトセット(ディレイ/フランジャー/シンフォニック) | 80 |
| リズムプログラム・パターン | |
| リズムプログラム(パターン)について | 86 |
| 新しいリズムを作る | 88 |
| リズムをエディットする | 106 |
| リズムプログラム・シーケンス | |
| リズムプログラム(シーケンス)について | 113 |
| リズムの順序を決める(シーケンス) | 114 |
| フットスイッチ | |
| フットスイッチについて | 127 |
| 右フットスイッチ | |
| レジストシフト | 128 |
| 左フットスイッチ | |
| リズム(ストップ/エンディング/フィルイン) | 135 |
| グライド | 137 |
| リセット | |
| パワーオン・リセット | 139 |
| 「演奏の録音・再生」 | |
| ミュージックディスクレコーダー | |
| ミュージックディスクレコーダー(MDR)について | 142 |
| フロッピーディスクについて | 147 |
| ディスクをフォーマット(初期化)する | 149 |
| レジストレーションデータの記録 | 151 |
| 演奏を録音する | 156 |
| いろいろな録音のしかた | 160 |
| レジストレーションのデータだけを差し替える | 169 |
| 演奏を再生する | 171 |
| 曲をコピーする | 183 |
| 曲を削除する | 185 |
| 「他の楽器と組み合わせる」 | |
| 音程/移調 | |
| 音の高さを変える(ピッチ/トランスポーズ) | 188 |
| MIDI | |
| MIDI端子について | 190 |
| MIDIを使うと | 191 |
| MIDIの設定 | 193 |
| MIDIメッセージ一覧 | 199 |

音色を下鍵盤に移す

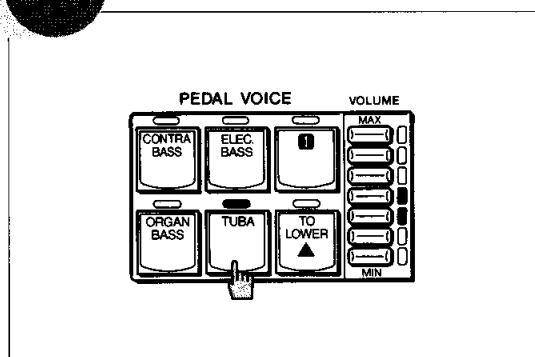
機能説明

トウーロワーとは、リードボイスやペダルボイスの音色を、下鍵盤に移して発音できる機能です。移したリードボイスまたはペダルボイスの音色は、下鍵盤の音色（ロワーキーボードボイス）と同時に発音します。

操作方法

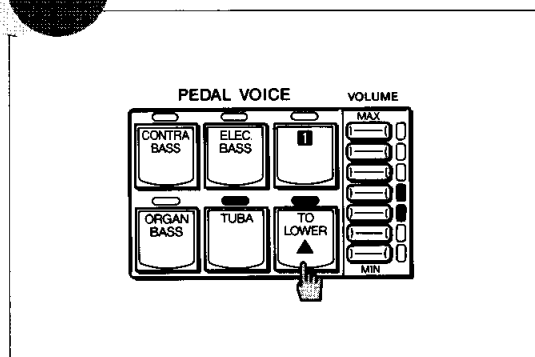
ペダルボイスの音色群の中から、「TUBA」(チューバ) の音色を選び、その音色を下鍵盤に移す操作を例にして説明します。

1 ペダルボイスの(TUBA)(チューバ) ボタンを押します。



- (TUBA)(チューバ) ボタンのランプが点灯します。
- ここで、チューバの音色の中から、移したい音色を選ぶことができます。

2 ペダルボイスの(TO LOWER)(トウーロワー)ボタンを押します。



- ペダルボイスの(TO LOWER)(トウーロワー)のボタンのランプが点灯します。

♪ 操作のポイント

- 操作1 で選んだ音色に効果をかけている場合は、下鍵盤へ移した音にも効果がかかっています。
- リードボイスの音色を下鍵盤に移したい場合は、リードボイスの(TO LOWER)(トウーロワー) ボタンを押して、同じように操作します。

注意

- この機能を使って、リードボイスを移した場合は、上鍵盤を押さえてもリードボイスの音は発音されません。また、ペダルボイスを移した場合も、ペダル鍵盤を押さえてもペダルボイスの音は発音されません。
- (TO LOWER)(トウーロワー) ボタンを押しても、ディスプレイの表示は変わりません。

設定した音色をドットボタンに登録する

機能説明

ドットボタンは、全ての音色の中で、よく使う音色を登録しておくことができるボタンです。

登録したドットボタンの内容は、ドットボタンを押すだけで、簡単に呼び出すことができます。

また、音色だけでなくリズムにもドットボタンがあります。リズムのドットボタンについては、P74をご覧ください。

各音色のドットボタンは、次の通りです。

| | |
|-----|----------------------------|
| 音色群 | アッパーキーボードボイス：ドットボタン〔1〕、〔2〕 |
| | ロワーキーボードボイス：ドットボタン〔1〕、〔2〕 |
| | リードボイス：ドットボタン〔1〕 |
| | ペダルボイス：ドットボタン〔1〕 |

●音色名とドットボタンのページについて

| ページ | 音色名 |
|-----|---------------------|
| P1 | STRINGS(ストリングス) |
| P2 | VIOLIN(バイオリン) |
| P3 | CONTRA BASS(コントラバス) |
| P4 | BRASS(ブラス) |
| P5 | HORN(ホルン) |
| P6 | TRUMPET(トランペット) |
| P7 | TUBA(チューバ) |
| P8 | FLUTE(フルート) |
| P9 | OBOE(オーボエ) |
| P10 | CLARINET(クラリネット) |
| P11 | SAXOPHONE(サキソフォン) |

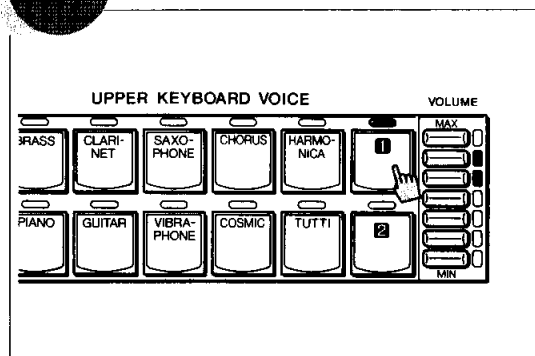
| ページ | 音色名 |
|-----|-----------------------|
| P12 | TUTTI(トゥッティ) |
| P13 | CHORUS(コーラス) |
| P14 | HARMONICA(ハーモニカ) |
| P15 | ORGAN(オルガン) |
| P16 | ORGAN BASS(オルガンベース) |
| P17 | PIANO(ピアノ) |
| P18 | GUITAR(ギター) |
| P19 | VIBRAPHONE(ビブラフォン) |
| P20 | ELEC.BASS(エレクトリックベース) |
| P21 | COSMIC(コスミック) |
| PUS | USER VOICE(ユーザーボイス) |

操作方法

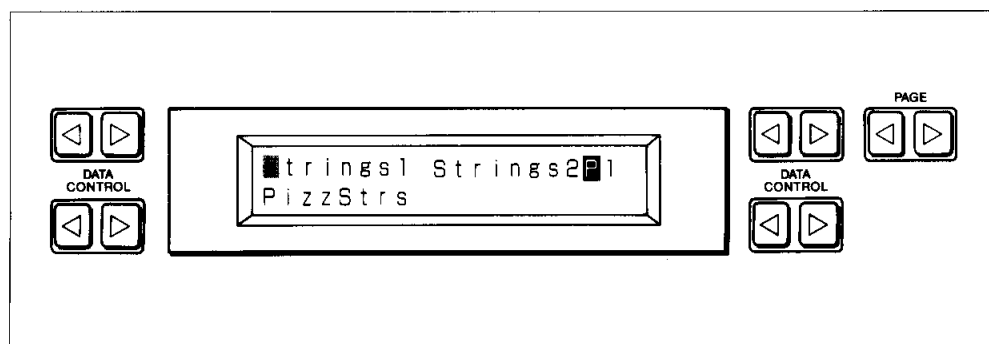
アッパーキーボードボイスのドットボタン〔1〕に、15ページ目の「PopOrgan」(ポップオルガン) を登録する操作を例にして説明します。



アッパーキーボードボイスのドットボタン〔1〕を押します。



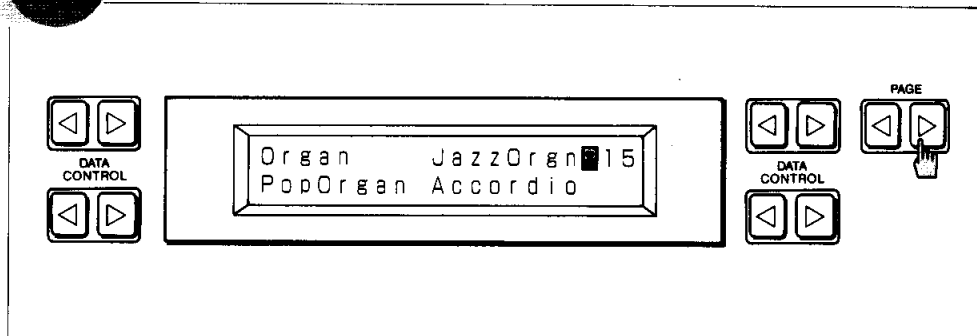
- ドットボタン〔1〕のランプが点灯します。
- アッパーキーボードボイスのドットボタン〔2〕や他の音色群のドットボタンに登録したい場合は、それぞれ登録したいドットボタンを押します。



- アッパーキーボードボイスの音色名が表示され、前に登録した音色名の頭文字が点滅しています。

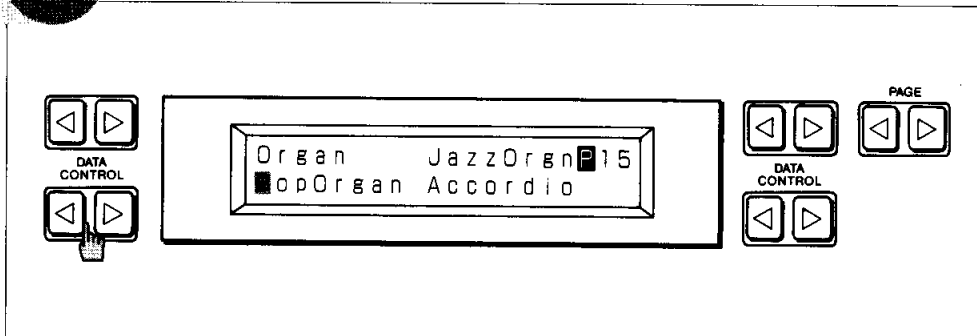
設定した音色をドットボタンに登録する

ページボタン〔▶〕を押して、15ページ目の「Organ」を選びます。



●他の音色のメニューを表示させる場合は、ページボタン〔◀〕〔▶〕を押します。

左下のデータコントロールボタン〔◀〕〔▶〕を押して、「PopOrgan」を選びます。



- 「PopOrgan」の頭文字が点滅します。
- 他の音色を選ぶ場合は、データコントロールボタン〔◀〕〔▶〕を押します。

これで、ドットボタン(1)に「PopOrgan」が登録されました。

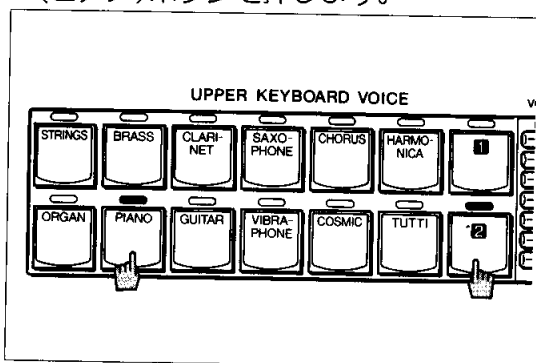
- 登録した音色を、もう一度呼び出すには、アツパーキーボードボイスのドットボタン(1)を押します。

ユーザーボイスについて

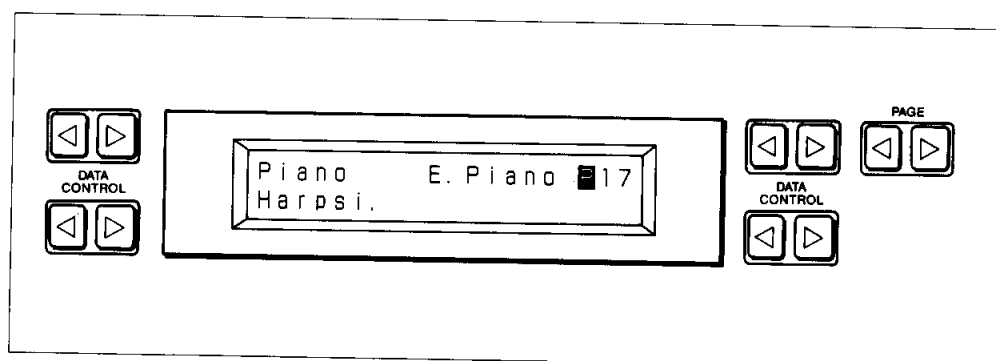
別売のEL-50用ボイスディスクの音色を、EL-50本体に移す場所の名称です。(詳しい作は、ボイスディスクの取扱説明書をご覧ください)。

○登録したい音色のページをすぐに呼び出すことができます。

①アッパーキーボードボイスのドットボタン(2)を押しながら、〔PIANO〕(ピアノ)ボタンを押します。

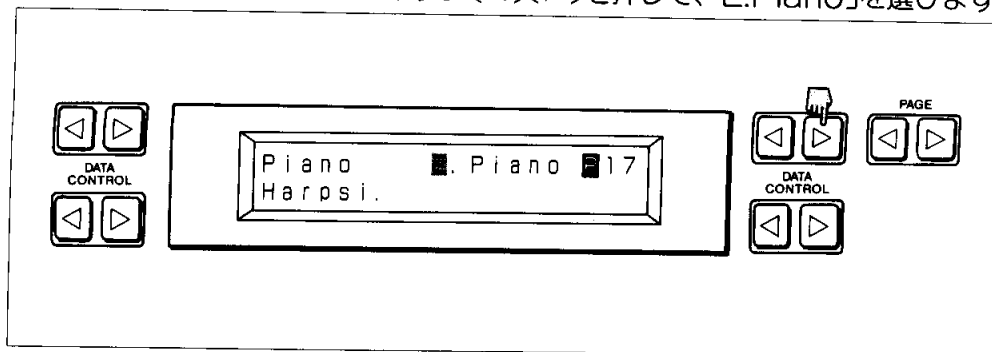


●他の音色を登録したい場合は、同じようにドットボタンを押しながら登録したい音色のボタンを押します。



●17ページ目のPIANOのメニューが表示されます。

②右上のデータコントロールボタン〔◀〕〔▶〕を押して、「E.Piano」を選びます。



●「E.Piano」の頭文字が点滅します。

これで、ドットボタン(2)に「E.Piano」が登録できました。

注意

●ドットボタンに登録する場合、音色メニューのページに切り替えただけでは、前の設定のままです。
データコントロールボタン〔◀〕〔▶〕を押して、音色を選ぶまでの操作を行ってください。

設定したリズムをドットボタンに登録する

機能説明

ドットボタンとは、全てのリズムの中でよく使うリズム、または作ったリズムを登録しておくことができるボタンです。

登録したドットボタンの内容は、ドットボタンを押すだけで、簡単に呼び出すことができます。

また、リズムだけでなく音色にもドットボタンがあります。音色のドットボタンについては、P71をご覧ください。

リズムのドットボタンは、次の通りです。

リズム：ドットボタン(1)、(2)

●リズム名とドットボタンのページについて

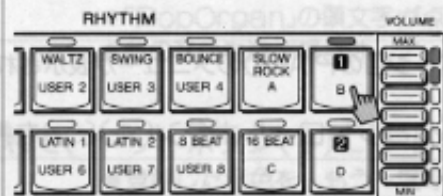
| ページ | リズム名 |
|-----|-------------------|
| P1 | MARCH(マーチ) |
| P2 | WALTZ(ワルツ) |
| P3 | SWING(スイング) |
| P4 | BOUNCE(バウンス) |
| P5 | SLOW ROCK(スローロック) |
| P6 | TANGO(タンゴ) |

| ページ | リズム名 |
|-------|-------------------|
| P7 | LATIN 1(ラテン 1) |
| P8 | LATIN 2(ラテン 2) |
| P9 | 8 BEAT(8ビート) |
| P10 | 16 BEAT(16ビート) |
| PU1~8 | USER 1~8(ユーザーリズム) |

操作方法

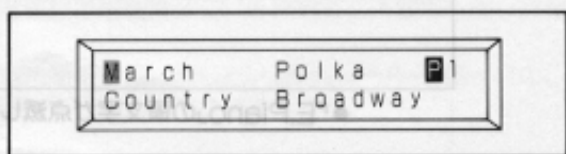
リズムのドットボタン(1)に、3ページ目の「Swing 2」(スイング2) を登録する操作を例にして説明します。

1. リズムのドットボタン(1)を押します。



●ドットボタン(1)のランプが点灯します。

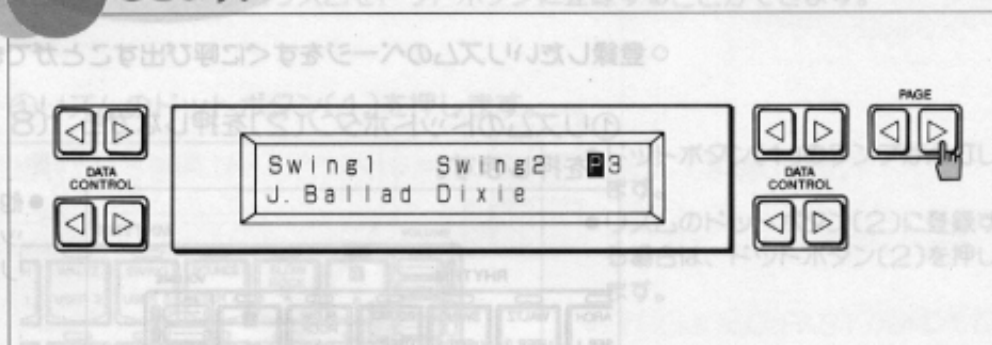
●リズムのドットボタン(2)に登録する場合は、ドットボタン(2)を押します。



●リズム名が表示され、前に登録したリズムの頭文字が点滅しています。

2

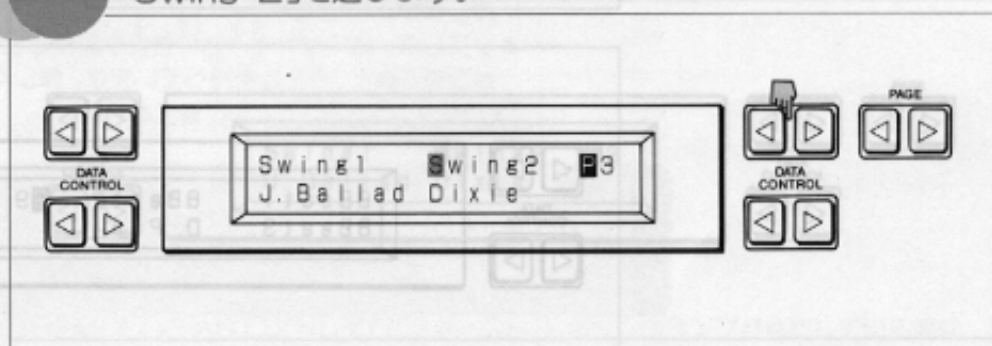
ページボタン (▷) を押して、3 ページ目の「Swing」を表示させます。



- 他のリズムのメニューを表示させる場合は、ページボタン(◀)(▷)を押します。

3

右上のデータコントロールボタン (◀)(▷) を押して、「Swing 2」を選びます。



- 「Swing 2」の頭文字が点滅します。
- 他のリズムを選ぶ場合は、データコントロールボタン (◀)(▷) を押します。

これで、ドットボタン(1)に「Swing 2」が登録されました。

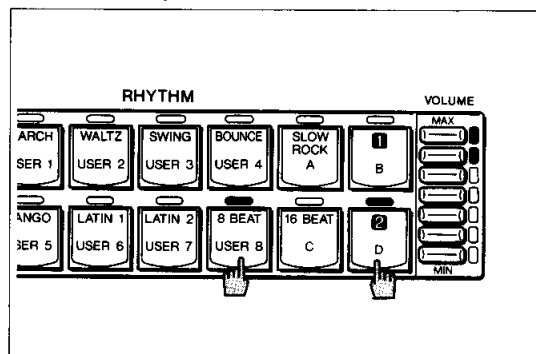
- 登録したリズムを、もう1度呼び出すには、リズムのドットボタン(1)を押します。

設定したリズムをドットボタンに登録する

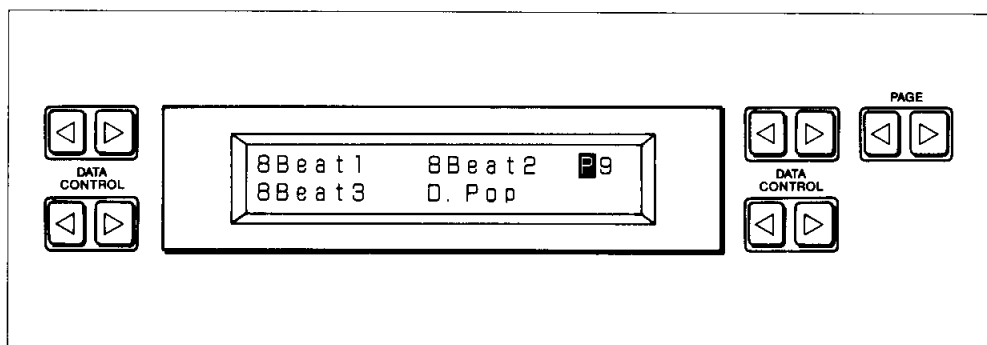
こんなこともできる

○登録したいリズムのページをすぐに呼び出すことができます。

①リズムのドットボタン〔2〕を押しながら、〔8 BEAT〕（8ビート）ボタンを押します。

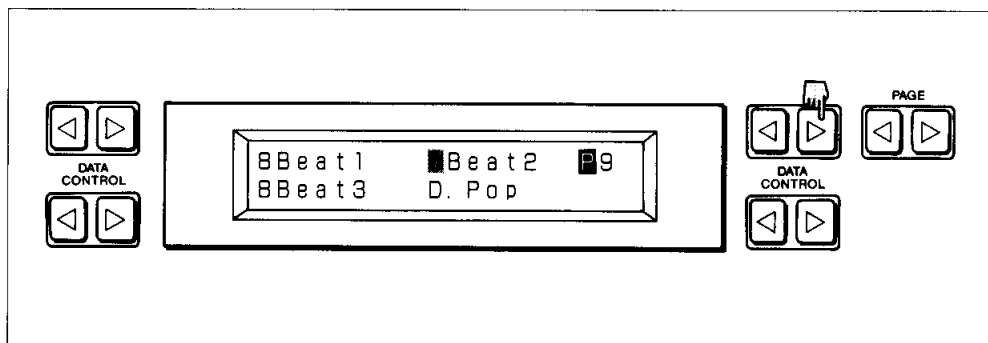


●他のリズムを登録したい場合は、ドットボタンを押しながら登録したいリズムのボタンを押します。



●9ページ目の8 Beatのメニューが表示されます。

②右上のデータコントロールボタン〔◀〕〔▶〕を押して、「8 Beat 2」を選びます。

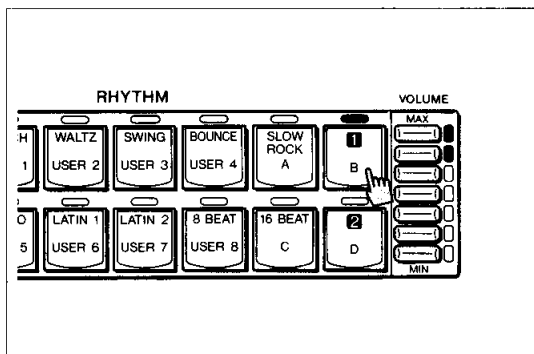


これで、ドットボタン〔2〕に「8 Beat 2」が登録できました。

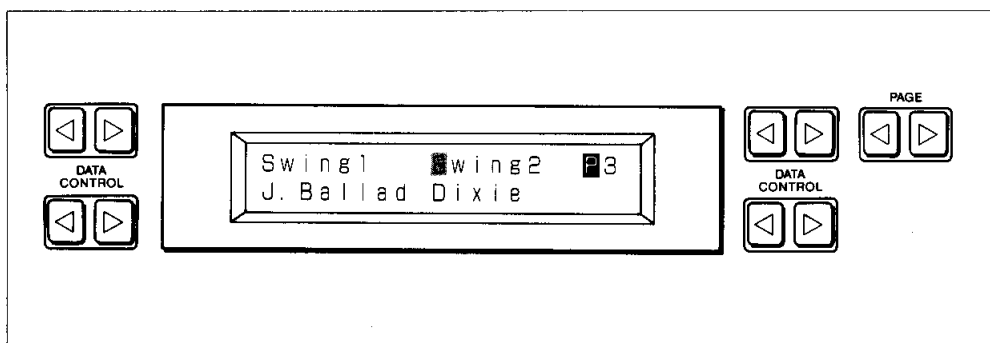
○作ったリズムをドットボタンに登録することができます。

リズムパターンで作ったリズムをドットボタンに登録することができます。

①リズムのドットボタン(1)を押します。

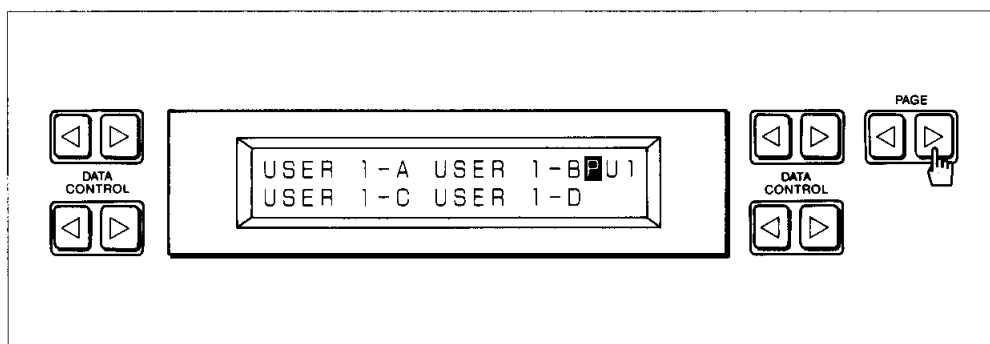


- ドットボタン(1)のランプが点灯します。
- リズムのドットボタン(2)に登録する場合は、ドットボタン(2)を押します。



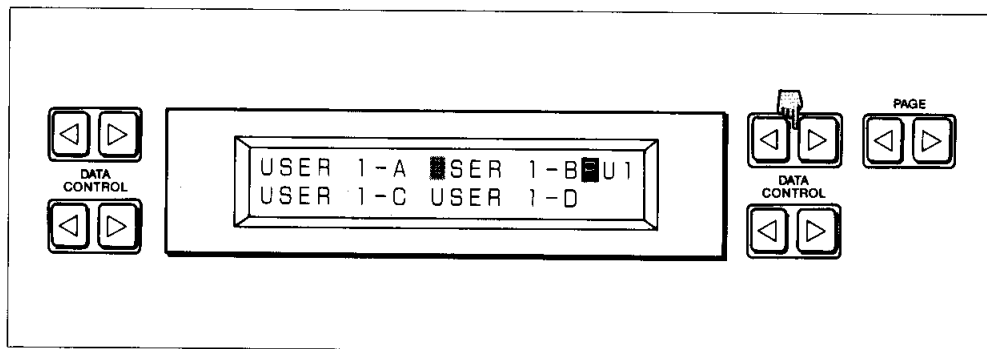
- リズム名が表示され、前に登録したリズムの頭文字が点滅しています。

②ページボタン(▶)を押し、ユーザーのページ「PU1」を表示させます。



設定したリズムをドットボタンに登録する

- ③右上のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「USER 1-B」を選びます。



これで、ドットボタン(1)に「USER1-B」が登録できました。

- 1～8の中で他のユーザー番号を選びたい場合は、ページボタン(◀)(▶)を押します。
- 「A」、「C」、「D」を選びたい場合は、データコントロールボタン(◀)(▶)を押します。
- リズムは、ユーザー1～8の各2小節長ごとに、A、B、C、Dのバリエーションを4個と、FILLを持っています。詳しくは、P86の「リズムプログラム(パターン)について」をご覧ください。

注
意

- ドットボタンに登録する場合、ページボタン(◀)(▶)で登録したいリズム名(例えば「SWING」)を表示させただけでは、前の設定のままです。データコントロールボタン(◀)(▶)を押して、リズムを選ぶまでの操作を行ってください。

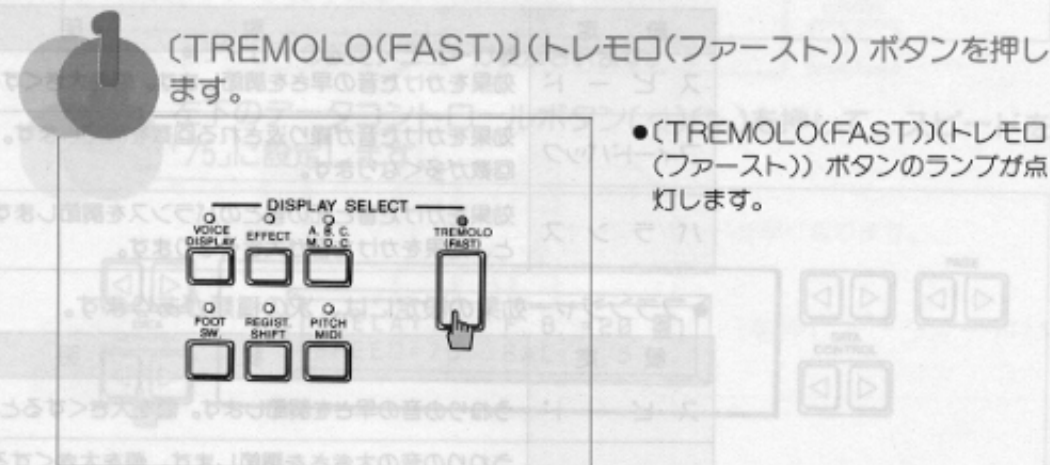
トレモロ(ファースト)

機能説明

トレモロ効果は、音が回転しているようにする機能です。

操作方法

現在使っている音色にトレモロの効果を加える操作を例にして説明します。



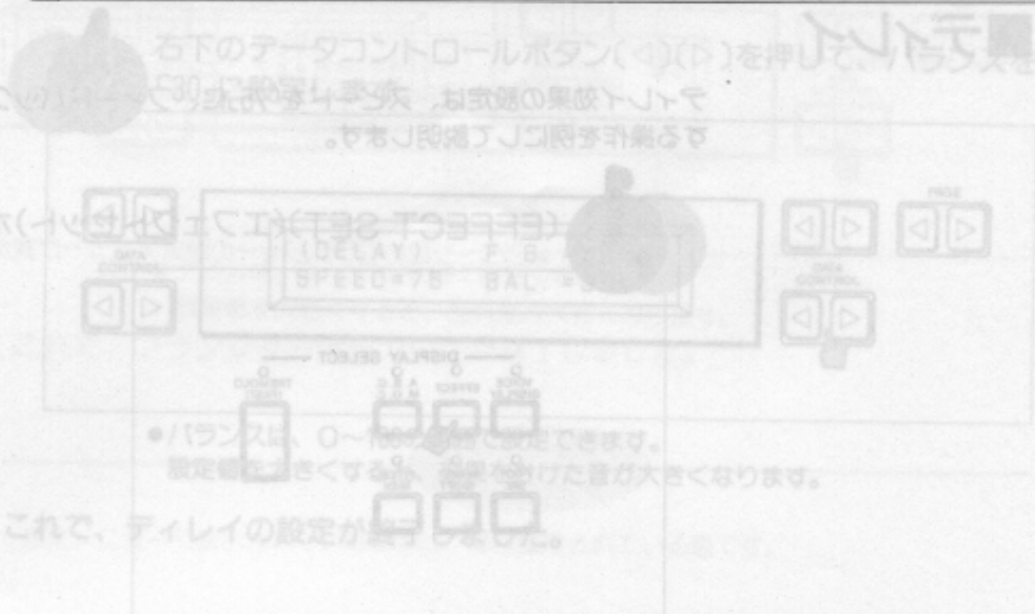
これで、トレモロ効果の設定が終了しました。

♪ 操作のポイント

- (TREMOLO(FAST))(トレモロ(ファースト)) ボタンのランプが点灯している間は、トレモロ効果がかかります。
- ランプが消えているときは、「コーラス」効果がかかっています。
(ボイスコンティンションでエフェクトの設定が「TRM.」になっているときのみ)

注意

- トレモロ効果を設定する操作では、ディスプレイ表示は変わりません。
- トレモロまたはコーラス効果をかける場合は、音色の発音状態(ボイスコンティンション)で、エフェクトの設定を「TRM.」にする必要があります。エフェクトが別の設定になっていると、ここでの操作をしても、トレモロまたはコーラス効果はかかりません。詳しくは、P31をご覧ください。
- 音色によっては、すでにトレモロ効果がかかっているものもあります。



エフェクトセット(ディレイ/フランジャー/シンフォニック)

機能説明

エフェクトセットとは、音に効果をかける場合のかけ方を設定することです。ここで設定できる効果には、ディレイ、フランジャー、シンフォニックがあります。ディレイ効果は、元の音に対して遅れた音を出して、音がこだまするように発音させる機能です。フランジャー効果は、ディレイ効果を応用させたもので、ジェット機の音がうねりをもったような音にする機能です。シンフォニック効果は、複数の楽器で演奏しているような感じにする機能です。

●ディレイ効果の設定には、次の種類があります。

| 設 定 | 説 明 | 設定範囲 |
|---------|---------------------------------------------------|-------|
| ス ピ ード | 効果をかけた音の早さを調節します。値を大きくすると早くなります。 | 0~100 |
| フィードバック | 効果をかけた音が繰り返される回数を調節します。値を大きくすると回数が多くなります。 | 0~100 |
| バ ラ ンス | 効果をかけた音と元の音とのバランスを調節します。値を大きくすると、効果をかけた音が大きくなります。 | 0~100 |

●フランジャー効果の設定には、次の種類があります。

| 設 定 | 説 明 | 設定範囲 |
|---------|----------------------------------------------|-------|
| ス ピ ード | うねりの音の早さを調節します。値を大きくすると早くなります。 | 0~100 |
| フィードバック | うねりの音の大きさを調節します。値を大きくすると回数が多くなり、うねりが大きくなります。 | 0~100 |
| テ プ ス | うねりの音の揺れ幅を設定します。値を大きくすると揺れ幅が大きくなります。 | 0~100 |

●シンフォニック効果の設定には、次の種類があります。

| 設 定 | 説 明 |
|---------|-------------------------|
| シンフォニック | 複数の楽器で演奏しているような感じになります。 |
| セ レ ス テ | シンフォニックのかけが、ゆるやかになります。 |

●ディレイ効果またはフランジャー効果またはシンフォニック効果をかけるには、P31の「ボイスコンディション」のエフェクトの設定で行います。

ディレイ効果とフランジャー効果を、それぞれ0~100の範囲の中から設定します。シンフォニック効果のシンフォニック/セレステの選択を行います。

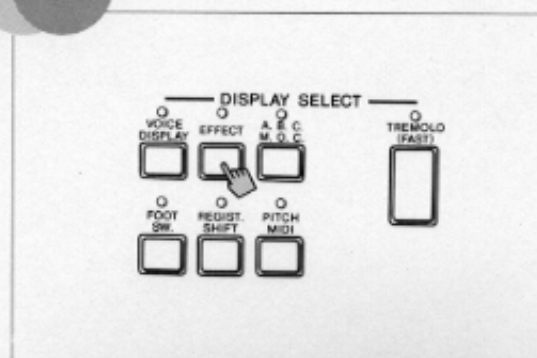
操作方法

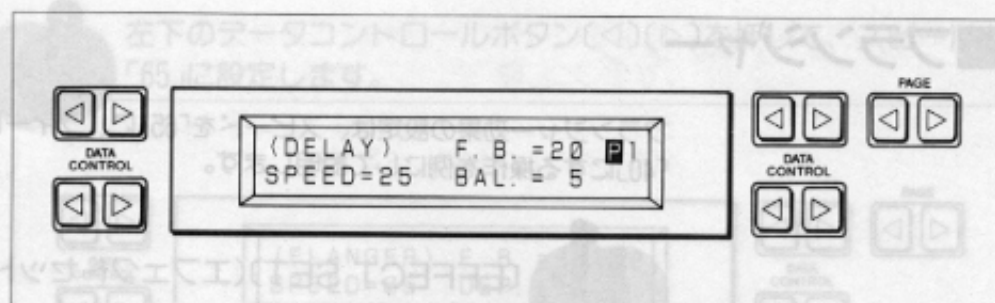
■ディレイ

ディレイ効果の設定は、スピードを「75」に、フィードバックを「55」に、バランス「30」にする操作を例にして説明します。

1

(EFFECT SET)(エフェクトセット)ボタンを押します。

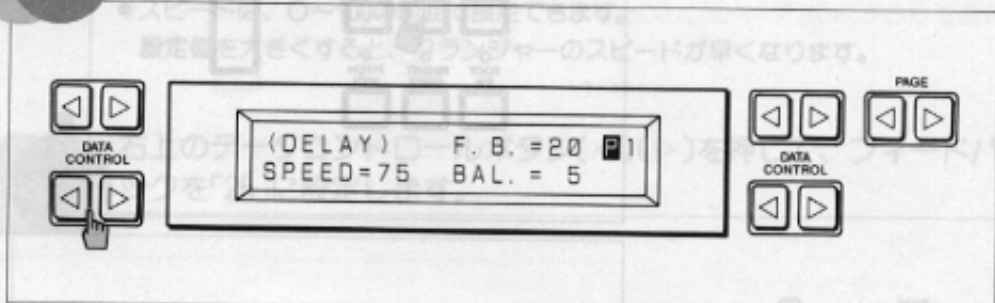




- ディレイの設定メニューが表示されます。

2

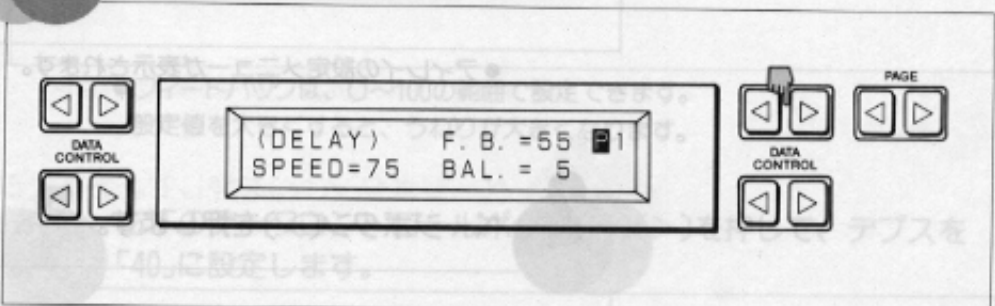
左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、スピードを「75」に設定します。



- スピードは、0～100の範囲で設定できます。
設定値を大きくすると、ディレイのスピードが早くなります。

3

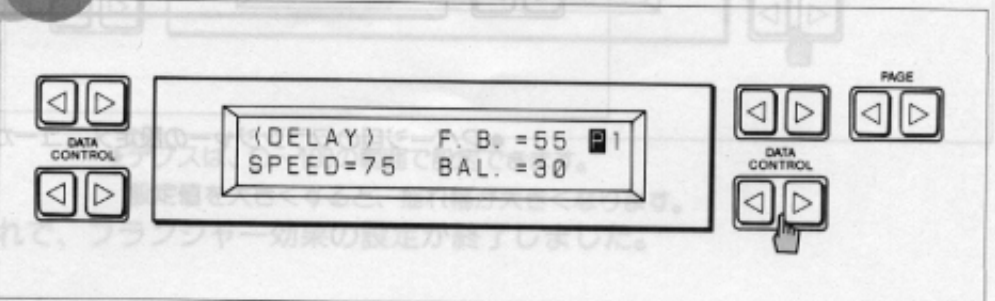
右上のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、フィードバックを「55」に設定します。



- フィードバックは、0～100の範囲で設定できます。
設定値を大きくすると、繰り返される回数が多くなります。

4

右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、バランスを「30」に設定します。



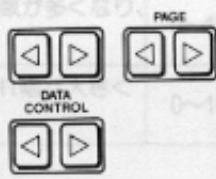
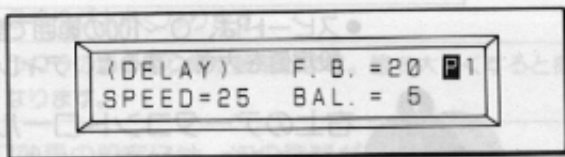
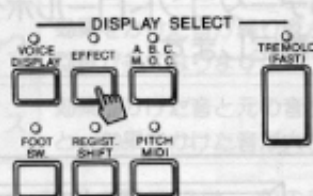
- バランスは、0～100の範囲で設定できます。
設定値を大きくすると、効果をかけた音が大きくなります。

これで、ディレイの設定が終了しました。

■フランジャー

フランジャー効果の設定は、スピードを「65」に、フィードバックを「25」に、デプスを「40」にする操作を例にして説明します。

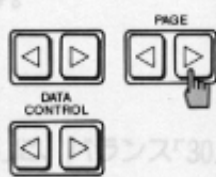
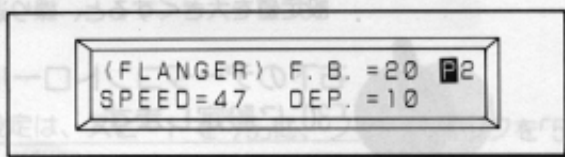
1 (EFFECT SET)(エフェクトセット)ボタンを押します。



●ディレイの設定メニューが表示されます。

2

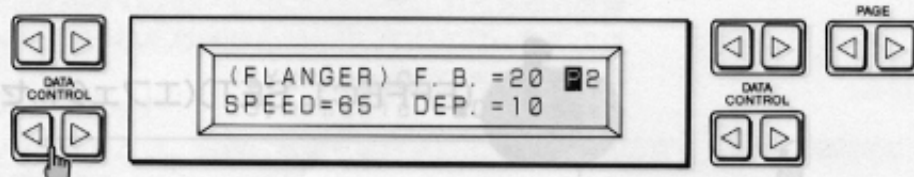
ページボタン(▷)を押します。



●2ページ目のフランジャーの設定メニューが表示されます。

3

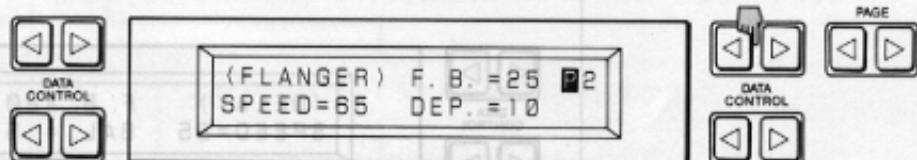
左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、スピードを「65」に設定します。



- スピードは、0～100の範囲で設定できます。
設定値を大きくすると、フランジャーのスピードが早くなります。

4

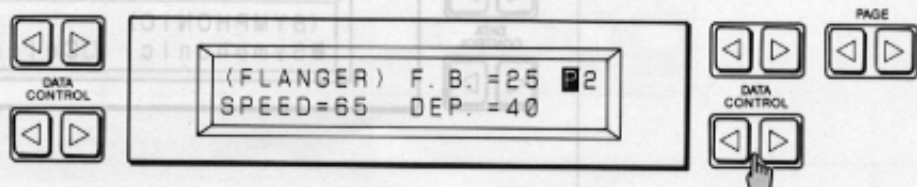
右上のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、フィードバックを「25」に設定します。



- フィードバックは、0～100の範囲で設定できます。
設定値を大きくすると、うねりが大きくなります。

5

右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、テブスを「40」に設定します。



- テブスは、0～100の範囲で設定できます。
設定値を大きくすると、揺れ幅が大きくなります。
- これで、フランジャー効果の設定が終了しました。

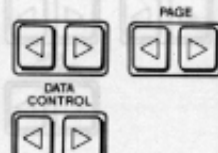
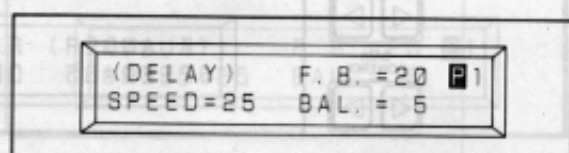
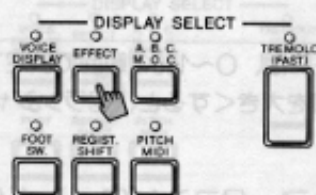
こんなこともできる

○設定メニューで表示されている数字は、現在設定されている値です。

■シンフォニック

シンフォニック効果の設定は、シンフォニック/セレステの選択を「Celeste」にする操作を例にして説明します。

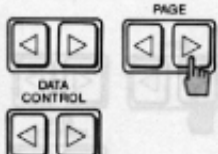
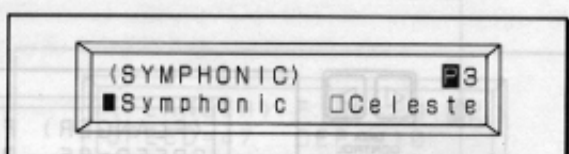
1 (EFFECT SET)(エフェクトセット)ボタンを押します。



●ディレイの設定メニューが表示されます。

2

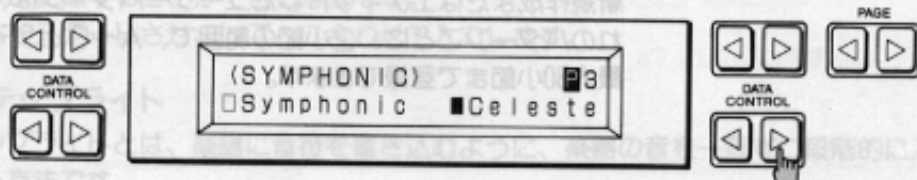
ページボタン(▷)を押して、3ページ目を表示させます。



●3ページ目のシンフォニック/セレステの設定メニューが表示されます。

3

右下または左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「Celeste」(セレステ)を「■」にします。



- 「Symphonic」(シンフォニック)、「Celeste」(セレステ)のどちらかを選ぶことができます。

これで、シンフォニック効果の設定ができました。

